

きれいで住みやすい町に

私たちは、大方中学校生徒会です。現在、私たちが力を入れて取り組んでいる「犬のフン」の取り組みについて紹介します。

私たちは、大好きな黒潮町をきれいで住みやすい町にしたいと考えました。しかし、公園や浜周辺、通学路のあちこちに「犬のフン」が多く、きれいで多くの人たちが楽しめるはずの公園や入野の浜が、衛生的にも問題があると考えたのです。生徒全員に、町内のどこで「犬のフン」が落ちているのかアンケートをとり、多くの情報を集めることができました。

これから私たちが考えていることは、まず、学校全体でポスターを募集する計画です。優秀作品を選んで、公園や浜周辺の施設、通学路に貼らしてもらおうと思っけています。ポスターを貼るための許可も、いろいろな場所をお願いに上がるうと思っけています。3年生で構成されたボランティアグループ「元気会」にも協力してもらおう予定です。

この取り組みについてのご協力をお願いします。

(大方中学校生徒会 副会長 野並 恵)



避難訓練

6月11日、防災参観日がありました。保護者・中学生・保育園児・役場の人たちといっしょに学校の裏山に避難しました。

逃げ道は、せまくて登りにくく、一番早く到着した人は、3分20秒で、一番遅い人で18分くらいでした。登ってみて正直すごくつかれたし、心ぞうがバクバクしました。それに、顔が赤くなっている人もいました。

子どもをおんぶして登ってくる保育士さんもいてとっても大変そうでした。汗もダラダラ流れていました。

帰り道は、坂が急なので、こける人もいたり、こけそうになった人もいました。

もし、今、地震が起きたら練習をした人以上に人が集まると思います。

だからもっと場所を広げてほしいし、逃げ道の坂を登るのに遅い人がいるから手すりなどを付けてほしいと思います。

わたしは、わたしで、地震・津波に備えて自分のできることをしていきたいと思っけています。

(佐賀小学校 6年 澳本楓花)



人権集会について

私たちの中学校では、毎年6月に人権集会を行っています。学校教育目標である『人間を大事に』していくための行事でもあります。

東日本大震災において、絆の大切さが再認識されました。そこで、今年はテーマとして、『友達・絆・命を大切に』をかかげ取り組んできました。

人権集会当日は、生徒、先生以外にも、地域の人たちもいっしょに学習をしました。

発表などもしました。1年生から3年生まで、命の大切さや絆の大切さが改めて確認できたと思います。地域の方の発表では、『大町九兵衛さん』の話聞きました。私は初めて聞いた話だったけど、人々のために命をたつた九兵衛さんはずごいと思っけていました。

最後に、学校だけではなく、地域もいっしょになって、『友達・命・絆』の大切さを学べてよかったです。これからも大切にしていきたいです。

(佐賀中学校 2年 多田真穂)

